

タイの国技ムエタイ 駅前広場で体験会

タイの国技であるムエタイの体験会が、7月29日(土)にJR大石田駅前広場で行われ、子どもや格闘技愛好者など町内外の多くの参加者で賑わいました。これは、(一社)日本ムエタイ連盟・(齋藤智宏代表)などが主催するイベントで、ムエタイをもっと広めたいという思いから、米沢市を皮切りに鉄道沿線数か所で行われており、最終地の同駅前広場で開催されたものです。

ムエタイはパンチやキック、肘打ち、膝蹴りが有効な攻撃として認められる格闘技で、タイ式キックボクシングとも言われます。この日は、同連盟の齋藤代表自らがパンチやキックなどのムエタイの基本的な動きや、立ち回りなどを指導しました。1回3分程度の体験会ですが、気温35℃の炎天下なこともあり、参加者は汗だくになりながら楽しんでいました。

体験会に参加した近藤凌久さん(尾花沢中・2年)は、「足の動きが難しかったですが、パンチやキックを打つとすっきりして楽しかったです」と話していました。



自分たちができることを考える 子どもサミットを開催

大石田町子どもサミットが、7月12日(水)に役場「大会議室」で行われました。これは、大石田中生徒会の発案で今回初めて行われたもので、小学校と中学校が連携し、「町をより良くするために自分たちにできること」を考え、実行する目的で企画されました。

この日は、各校の児童会・生徒会を代表して20人の小中学生が参加しました。はじめに、各校のスローガンやこれまでの取り組み内容、力を入れていることなどが発表され、後半にはグループ協議が行われました。グループ協議は中学生が座長となって進められ、各校が力を入れている取り組みで共通している「あいさつ活動」をテーマに協議が行われました。小中学生からは「外国語であいさつする」や「あいさつポスターを作る」などたくさんの意見が出され、次回の第2回サミットに向けて、各学校で取り組み目標を設定し、あいさつ運動を推進していくことになりました。

参加した村岡大さん(大中3年)は、「これからしっかり活動して、町をより良くする手伝いができれば嬉しいです」と話していました。



チェロ×ピアノ×ダンス 生演奏と踊りのコラボで来場者を魅了

KURA Concert Vol. 1～音楽とダンスの昼下がりに、7月15日(土)にKOE no KURAで行われ、町内外から43人が来場し、チェロとピアノの生演奏と踊りのコラボを楽しみました。出演者は加藤皓平さん(チェロ)、白田佳子さん(ピアノ)、久保田舞さん(地域おこし協力隊・ダンス)の3人で、「やさしさに包まれたなら」や「グリーンスリーブス」など、クラシックから歌謡曲まで、バリエーション豊かな曲目が披露されました。

来場者は、メンバーが奏でるチェロとピアノの優雅な音色や表情豊かな踊りのコラボを満喫していました。



障がい者駐車場の塗装ボランティア

障がい者駐車場の必要性の理解と適正な利用を啓発しようと、「障がい者自立生活センターほっとらいふ」(梅津洋治代表)が、7月23日(日)にあつたまりランド深堀の障がい者駐車場の塗装ボランティアを行いました。同センターでは一昨年にも役場正面の障がい者駐車場の塗装ボランティアを行っており、今回で2回目となります。今回は地域おこし協力隊のメンバーからも参加しました。

同センターの鈴木廣子さんは、「障がい者駐車場の必要性と適正利用について考えるきっかけになると嬉しいです」と話していました。

大変ありがとうございました。



南小の児童がそばの種まきを体験

そばの種まき体験が、7月21日(金)に大石田南小学校前の畑で行われ、南小の4年生児童7人が作業を体験しました。これは、横山地域農地・水・環境保全組織の協力で毎年行われているものです。

この日は、指導者の井上邦義さんや小内正美さんなどから種のまき方を教わり、学校前の畑で種まきを体験しました。児童たちは畑に入ると、ゆっくりと歩きながら手に持ったそばの種をまんべんなく、均等になるように気を付けながらまいていました。

南小では、秋ごろにそばの刈り取りとそば打ち体験授業を予定しています。



仲間と爽やかな汗を流して 親睦深める

第22回きららクラブ大石田グラウンドゴルフ大会が7月14日(金)に、スポーツ広場で行われました。大会には43人が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

第1位	青木孝行(大浦)
第2位	小坐間道子(四日町)
第3位	伊藤富夫(東町)
第4位	矢作善一(東町)
第5位	横山秀子(曙町)
第6位	佐藤満(栄町) (敬称略)